



ふれあい広場

発行 健生会友の会事務局
 住所 〒635-0022 大和高田市日之出町 11-14
 ☎(0745)22-2989 [平日9:00~17:00]
 E-mail tomonokai@kenseikai-nara.jp
 (社医)健生会ホームページ
<https://kenseikai-nara.or.jp>

やめて!!患者の負担増!!

奈良県が診療報酬単価1割引き上げを国に提案



荒井知事は県内の医療機関のコロナ禍における影響を調査し、5月の医業収入が前年同月比で平均15%、20%減ったことが判明しました。国に意見を伝える材料にするとしていました。が、知事は「奈良県の診療報酬単価を一点10円から11円に引き上げて医療機関を守る」という考え方を示しました。全国ほとんどの医療機関がコロナ感染拡大により感染患者さんを受け入れ、検査を積極的に行った病院はもちろん、

荒井知事は「奈良県の診療報酬単価を一点10円から11円に引き上げて医療機関を守る」という考え方を示しました。全国ほとんどの医療機関がコロナ感染拡大により感染患者さんを受け入れ、検査を積極的に行っていた病院はもちろん、



奈良県議会議員
友の会副会長
太田 敦

日本共産党の山村幸穂奈良県議は15日、代表質問を行い、荒井正吾知事に対し、地域別診療報酬についての国への要望を撤回するように求めました。

山村県議は、新型コロナウイルスの影響により、すべての医療機関の経営困難が続いており、「国費による医療機関への支援を政府に求めるべき」と訴えました。合わせて地域別診療報酬の導入は、「国民皆保険制度の基本を揺るがすものだ」と述べ、厚労相に提出した「地域差をつけた診療報酬引き上げの要望」の撤回を求めました。

荒井知事は、1963年までは診療報酬に地域差があったことや介護保険制度に地域差があることを理由に「報酬単価や利用者負担の地域差と

国民皆保険制度が両立する」と合理化し、また国費による減収分の補てんは

実務上も難しいなどと持論を展開しました。山村県議は、「弱い立場の人ほど影響を受けやすいのがコロナ」であり、「これ以上患者負担を増やすべきでない」「医療機関も反対している」と追及しましたが、荒井知事は認識を改めませんでした。

患者負担が増える地域別診療報酬については県民の皆さんと力を合わせて撤回させるように引き続き頑張ります。



土庫病院事務長
むらた ともか
室田 智郁

医療はどこでやっても内容は同じであり、負担は一律にすべきということから診療報酬制度が確立した歴史があります。そしてそれは、日本の医療がいつ

受けましたか？インフルエンザ予防接種

10月から予防接種が始まっています。今年はコロナとの併発を防ぐため、65歳以上の方のワクチン接種を無料にする市町村もあります。予約は各診療所にお電話ください。(今年は土庫病院では実施していません。)

- ・日の出診療所 ☎0745-23-4321(13時~)
- ・こども診療所 ☎0745-23-1682
※ご両親も一緒に接種できるので、お申し出ください。
- ・河合診療所 ☎0745-57-0212
- ・大福診療所 ☎0744-42-3059

スコop

菅内閣は「ちょっとだけ回転ずし内閣」!?
初内閣は5人のみという新内閣。

菅氏は、就任会見で、「私がめざす社会像は『自助、共助、公助』だ」と語り、自助という言葉を繰り返して使いましたね。政治家が『まず自助だ!』って…。政治の責任放棄ではないでしょうか!
国会会議録検索システムで「自助 共助 公助」と入力し、最初にヒットするのは、1994年の社会党の糸久八重子参院議員が、厚生省の「高齢社会福祉ビジョン懇談会」が社会保障の在り方として「自助、共助、公助」を提言したのに対し、公助を軸とした高福祉社会を!と提案した質問です。

2000年代からは、「公助、共助、自助」は、防災対策のあり方だけでなく、「社会保障の在り方は自助を基本に!」とした発言になってきました。

今、コロナ禍のもとで自己責任では乗り越えられない事態が広がるもとで「自助、共助、公助」を強調した菅氏。「国民の暮らしを守り、よくする」ため公の責任を果たすという政治の仕事否定して「自助」を強調する本音がいつそう鮮やかに浮かび上がります。

もう限界!の思いを爆発させて自己責任を押しつける政治を終わりにしませんか!
(編集委員 沢田よう子)